

馬場ひでゆきの活動日誌

No.77

9月24日、県議会・県民所得アップ対策委員会は、十日町市松代地区の星峠の棚田（※）を視察しました。

「星峠の棚田を守る会」代表の桑井さんにお話を聞きました。桑井さんは、群馬で生活しながら、新潟に「通い農」をしています。

「星峠の棚田は、標高400mに位置します。200枚の田んぼが連なり、面積で約38haになります。

「星峠の棚田米」は、ミネラル豊富な雪解け水と粘土質の強い土壌によって、甘味、香り、ツヤに優れたコシヒカリとなっています。米の一部をはき掛け米にすることによって高付加価値

値化も図っています。

棚田がある峠集落は現在28名、そのうちの8名と私とで耕作しています。その内7名が60歳以上です。高齢化や離農が進み、担い手不足が深刻です。

「星峠の棚田を守る会」は、棚田を未来に残すために、棚田米の販売、棚田の保全活動へのボランティア募集に取り組んでいます。

議員の皆さんには、所得がないと棚田の担い手が育たないことを理解してほしいです。

この地域は雪解け水と雨水に頼る天水田です。今年は大雪でしたが、その雪解け水も5月にはなくなりました。6月下旬からは50日間雨が降りませんでした。タンクローリー車や散水車による散水を考えましたが、気休め程度にしかならないのであきらめました。

（眼下の水田を指しながら）まっすぐ立っている稲がありませんが、実は稲穂がついていないのです。稲穂があるのは、重みで倒れています。今年は水不足で一昨年以上に大変な年でした」

※ 星峠の棚田は、寒暖差が激



300年以前から開墾された棚田、景観が見事です。

しいために早朝は雲海を見る事ができます。四季折々に表情を変える美しい棚田の景観は世界中の人々を魅了しています。令



桑井さん、群馬から通ってます。

和4年に農水省の「つなぐ棚田遺産」にも選定されました。

参加者は、棚田の保全に大変な労力が必要だということを実感しました。ただ、土や水の自然に恵まれた土地で丁寧に栽培された棚田米が、高付加価値を生み出し、消費者に支持されているというのは、希望です。

農業には自然と対話しながら、農産物を自分で作れるという魅力があります。生活できる所得の確保さえ目途がつけば、中山間地に人が戻ってくるのではないかと考えます。

9月議会が始まります

9月定例会(議会)日程

9月30日	火	13:00～	本会議 開会
10月2日	木	10:00～	本会議 代表質問
10月3日	金	10:00～	本会議 一般質問
10月6日	月	10:00～	本会議 一般質問
10月7日	火	10:00～	常任委員会
10月8日	水	10:00～	常任委員会
10月9日	木	10:00～	常任委員会
10月15日	水	10:00～	連合委員会
10月20日	月	10:00～	本会議(決算議案) 常任委員会採決
10月21日	火	13:00～	本会議 採決・閉会

性的少数者の声に学ぶ

9月6日、市民プラザで「私たちはここにいます―性的少数者の声に学ぶ」の学習会に参加しました。この集会で性的マイノリティーの当事者のお話をじっくり聞くことができました。

その方の戸籍上の性別は女性でした。でも、幼少期の頃、稚児さん行列で女の子用の衣装を着せられそうになり、それがイヤで逃げ回りました。

中学校では、同性を好きになりました。しかし、同性愛を本で調べたら、その当時の本には「同性愛は病気」「電気ショックで直せる」と書かれてありました。その方は、親に本当のことを言ったら病院に連れていかれると思い、自分の思いをひた隠しにしました。その後も「自分が何者か」という問いから逃げ続けました。

転機は、同和問題の研修会に参加したことでした。講師が同和の集落で生きてきた半生を語り、それが誇りだと語りました。それを聞いて、自分も「自分に生まれてよかった」と肯定していいのではないと思いました。また、信頼できる同僚からも、「（性的少数者であることは）あなた

の切り札だよ」とも言われました。今では性的少数者の交流会に携わっています。

以上がお話の内容です。心の中にある葛藤を時間をかけて克服されてきたという内容で、その話の重さに圧倒されました。

戦争の準備よりも平和のための対話を！

日米豪共同訓練反対県民集会in上越



晴天に恵まれて気持ち良くデモ後進！

9月14日、関山演習場などで実施される日米豪共同訓練に対する集会に参加、皆さんと一緒にデモ行進しました。集会でした私の挨拶は次のとおり。
「今回の軍事演習は、台湾有事を念頭に置いています。中国と台湾がケンカすると、アメリカが台湾を応援する、アメリカが応援するなら日本も応援する、ということになります。」

これは、日本がアメリカに対して応援すると約束し、日本でも集団的自衛権の行使が法制化されているからです。

しかし、なんで自分たちと関係のないケンカに出ていくのか私には理解できません。自衛隊員が無駄な死に方をするのだってあります。アメリカの軍事基地が集中する沖縄が、攻撃のターゲットになります。これでは、無謀な戦争を繰り返すことになります。日本の安全保障は、防衛費を際限なく使用するよりも近隣諸国と平和のための対話をするべきだと思います。」

馬場ひでゆきの活動報告vol.9

上越市内の皆さまにはもうお手元に届きましたでしょうか。早いもので2023年秋号を発行してちょうど2年が経ちました。もう9号目です！

今回は夏に起きた上越市内の水不足について掲載しました。おしゃべり会などでお話をさせていただくと、今回の水不足の本当の原因について知らないという方が多いように思いました。

そこで私なりに分かりやすいように図解で原因と問題点について載せました。感想などをお聞かせください。お待ちしております。

発行しました！



9月13日～9月26日

9月14日 棚田学校 稲刈り（中ノ俣）

●15日 日米豪共同訓練反対県民集会・デモ行進（高田スポーツセンター他）

●17日 防災・脱炭素社会づくり特別委員会県内視察同行（株有沢製作所、上越地域消防局）

●24・25日 県民所得アップ対策特別委員会県内視察（松代地区星峠の棚田、燕市内の（株）インバード）



出張馬場のおしゃべり会

少人数の「おしゃべり会」をさせていただける場を設けてくださる方を募集中です。
お茶飲み友達や、趣味の仲間などにお声掛けいただければ幸いです。ご希望があればどこでも行きます！

お問い合わせは事務所まで。
☎025-546-7110

発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイアパレス高田式番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp